

社団法人 日本透析医会通常総会資料

社団法人 日本透析医会通常総会

日 時 平成 8 年 5 月 19 日 (日) 午後 2 時

場 所 (社) 日本透析医会・会議室 (3 階)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人選任
5. 議 事

第 1 号議案 平成 7 年度事業報告及び収支
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 8 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

6. 閉 会

第 1 号議案 平成 7 年度 事業報告書

I. 会 議

1. 総 会

平成 7 年度通常総会

平成 7 年 5 月 21 日

第 1 号議案 平成 6 年度事業報告及び収支
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 7 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

2. 理事会

平成 7 年 4 月 22 日

(理事会及び適正透析普及委員会の合同開催)

協議事項

1. 平成 6 年度事業報告及び収支決算につ
いて
2. 平成 7 年度事業計画及び予算について
3. (社) 日本腎臓移植ネットワークの発足
について
4. その他

平成 7 年 5 月 21 日 協議事項

平成 7 年度通常総会提出議案について

第 1 号議案 平成 6 年度事業報告及び収支
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 7 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

報告事項

1. (社) 日本腎臓移植ネットワークへの社
員推薦について
2. 会員の入・退会者について
3. その他

平成 8 年 2 月 17 日

(理事会及び適正透析普及委員会の合同開催)

協議事項

1. 診療報酬改定について
2. その他

3. 常務理事会

平成 7 年 5 月 21 日 協議事項

平成 7 年度通常総会の開催について

1. 平成6年度事業報告及び収支決算について
2. 平成7年度事業計画及び予算について
3. 新役員について
4. その他

報告事項

1. (社)日本腎臓移植ネットワークへの社員推薦について
2. 会員の入・退会者について
3. その他

平成7年7月15日 協議事項

1. 「診療報酬改定」に関する要望事項について
2. 平成7年度各委員会の委員長及び担当理事の選任について
3. その他
 - (1) (社)日本透析医会支部結成に関するお願いについて
 - (2) 地域での災害対策策定のお願いについて

報告事項

1. (社)日本腎臓移植ネットワークへの入会金、年会費及び賛助会費の納入について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について
4. その他

平成7年9月16日 協議事項

1. 診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について
2. 平成7年度「シンポジウム」の開催について
3. 平成7年度腎移植推進月間の主催及び第10回腎移植推進国民大会の後援依頼について(厚生省)
4. 全腎協主催「シンポジウム」の後援名

義使用の依頼について

5. その他

- (1) US腎と日本腎臓移植ネットワークの見解について
- (2) アメリカ腎臓学会での発表について

報告事項

1. 特定公益増進法人の認可について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について
4. その他

平成7年10月14日 (臨時) 協議事項

1. 診療報酬改定に関する検討事項について
2. その他

報告事項

1. 診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について
2. US腎移植についての報告書(日本移植学会・特別委員会)
3. 全腎協主催「シンポジウム」実施の報告と後援名義使用のお礼について
4. その他

平成7年11月19日 協議事項

1. 診療報酬改定への「要望書」作成について
2. 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」の改正について
3. 「女性のためのアジア平和国民基金」の募金活動等に対する協力依頼について(厚生省)
4. その他

報告事項

1. 平成7年度「シンポジウム」の開催について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について

4. その他

平成7年12月16日（臨時）協議事項

1. 診療報酬改定に関する「要望書」について
2. 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」の改定について
3. 診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について
4. その他

報告事項

1. 第11回疾病対策連絡協議会の開催について(厚生省)
2. その他

平成8年1月20日 協議事項

1. 診療報酬改定について
2. (社)日本透析医会「研修セミナー」の開催について
3. 学会等の助成について
4. 全腎協主催「シンポジウム」の後援名義使用の依頼について
5. その他

報告事項

1. 第10回腎移植推進国民大会の経費負担について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について
4. その他

平成8年2月17日（臨時）協議事項

1. 診療報酬改定について
2. 「サイコ・ネフロロジー研究会」の後援名義使用の依頼について
3. その他

報告事項

1. 厚生省防災業務計画について
2. その他

平成8年3月16日 協議事項

1. 平成8年度予算(案)について
2. 診療報酬改定について
3. 医会事務室の契約更新について
4. その他

報告事項

1. (社)日本透析医会研修セミナーの開催について
2. 災害時救急透析医療システム(登録)について
3. 「焼却炉使用状況に関するアンケート調査結果」について
4. 会費納入状況について
5. 会員の入・退会者について
6. その他

Ⅱ. 平成7年度委員会報告

1. 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入委員会

透析導入者審査委員会設置支部(新潟・栃木・愛知)に助成した。

(2) 維持透析療法委員会

(平成7年度3回開催)

「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」(平成6年改訂)の見直しについて、分析・検討が上記の3回にわたって、精力的になされた。

その検討結果に基づき、平成7年度改訂について厚生省に提出した。(協議中)

(3) 適正透析普及委員会

(平成7年度2回理事会と合同開催)

1) 平成7年度通常総会提出議案について協議された。

2) (社)日本腎臓移植ネットワークへの協賛について、対策が協議された。

対応については、平成7年8月10日発

行の日本透析医会雑誌 (Vol. 11. No. 1. 23号) に報告した。

3) 平成8年度診療報酬改定に関する諸問題について討議された。

(4) 透析医療経済委員会

(平成7年度4回開催)

1) 平成8年度の診療報酬改定に対する医会としての対応について協議し、厚生省に「要望書」を提出するとともに、厚生省幹部に対し、透析医療の現状を説明した。「要望書」は会務報告どおり関係者に提出した。

2) 「診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について」の調査結果を厚生省に報告した。

調査結果については、平成7年12月20日発行の日本透析医会雑誌 (Vol. 11. No. 2. 24号) に報告した。

3) 平成8年度診療報酬改定に関する勉強会を開催した。

日 時 平成8年3月27日(水)

午後2時～4時

場 所 (社)日本透析医会事務局
会議室(3階)

講 師 厚生省保険局医療課
原 徳壽課長補佐

(5) 医療廃棄物対策委員会

(平成8年3月開催)

平成6年に行った透析施設における感染性廃棄物に関するアンケート調査の結果(平成7年8月10日発行の日本透析医会雑誌 Vol. 11. No. 1. 23号に報告)により、その中間処理の方法の一つとして「焼却炉」の導入も重要な方法であるとの認識のもとに、委員会ではこの件を検討することになり、「焼却炉使用状況について」のアンケート調査を実施した。そのアンケート調査結果について報告された。

調査結果については、次回の日本透析医会雑誌に報告する予定である。

2. 災害時救急透析医療委員会

(平成7年度2回開催)

(1) 平成7年6月3日(土) 委員会を開催し、災害発生時における対策、平時における対策等について討議した。

(2) 平成7年11月18日(土) 委員会を開催し、地域の災害対策、地域中核病院の設定等について討議した。

(3) サハリン北部地震に支援した。

災害関係については、平成7年8月10日発行 (Vol. 11. No. 1. 23号) 及び平成7年12月20日発行 (Vol. 11. No. 2. 24号) の日本透析医会雑誌に報告した。

(4) 第5回目の患者登録更新を実施した。

(参 考)

	施設登録	個人登録
第1回登録数	1,196件	32,667人
第2回登録数	1,217件	38,390人
第3回登録数	1,219件	40,154人
第4回登録数	1,215件	44,600人
第5回登録数	1,243件	48,389人

3. 合併症対策委員会

(平成7年10月開催)

平成7年10月委員会を開催し、「透析患者の合併症とその対策」シリーズとして「骨・関節障害」をとりあげ、執筆者を選定し、依頼した。発刊は平成8年5月、会員及び関係機関に配布の予定である。

4. 腎移植普及推進委員会

(1) 社団法人日本腎臓移植ネットワークの発足にともない、当医会からのネットワーク社員となる施設の推薦及び助成等について

検討した。

対応については、平成7年8月10日発行の日本透析医会雑誌(Vol. 11. No. 1・23号)に報告した。

- (2) 平成7年度腎移植推進月間及び第10回腎移植推進国民大会の助成を検討した。
- (3) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。

6. 研修委員会

(平成7年9月開催)

- (1) 学術研究に助成した。
- 1) 新潟県透析医会
研究標題：「糖尿病性腎症透析患者における適正な透析療法と糖尿病治療に関する研究」
- 2) 広島県透析連絡協議会
研究標題：「慢性透析患者の脂質代謝異常におけるアポリポ蛋白E多型性の役割に関する研究」
- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支部名	会 場	開催年月日
北海道	ホテルニューオータニ札幌	平成7年10月21日
青森県	黒石市民文化会館	平成7年5月21日
新潟県	上越文化会館	平成7年4月23日
岐阜県	岐阜県医師会館	平成7年11月12日
愛知県	ホテルプレシード名古屋	平成7年12月3日
広島県	広島ターミナルホテル	平成8年3月16日
高知県	高知県医師会館	平成7年10月29日

- (3) 第8回(社)日本透析医会シンポジウムを開催した。

透析医療に関するConsensus Conference '95
—二次性副甲状腺機能亢進症に対する保存的治療の限界と手術適応—

日 時 平成7年11月19日(日)

午前9時～午後3時

場 所 津田ホール

司 会 大平整爾(岩見沢市立総合病院)

秋葉 隆(東京医科歯科大学)

講演者 鈴木正司(信楽園病院)ほか6名

出席者 約200名

- (4) (社)日本透析医会研修セミナーを開催した。

—透析医療におけるCurrent Topics '96—

日 時 平成8年3月3日(日)

午前9時～午後3時

場 所 津田ホール

司 会 天野 泉(社会保険中京病院)ほか4名

講演者 阿部富弥(和歌山県立医大腎センター)

ほか4名

出席者 約200名

7. 広報委員会

(平成7年11月開催)

地域での災害対策策定のお願ひ、腎移植ネットワーク社員推薦施設、シンポジウム、アクセス研究会抄録などによるVol. 11. No. 1 (23号)。

「診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について」の調査報告、医会としての災害対策、栃木県透析医会からの学術報告などによるVol. 11. No. 2 (24号)を発刊し、全会員及び関係機関に送付した。

平成 7 年度委員会開催状況

(平成 7 年 4 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日)

委 員 会	開 催 年 月 日
1. 適正透析療法委員会	
(1) 適正透析導入委員会	
(2) 維持透析療法委員会	平成 7 年 11 月 7 日 平成 7 年 11 月 29 日 平成 8 年 1 月 17 日
(3) 適正透析普及委員会	平成 7 年 4 月 22 日 平成 8 年 2 月 17 日
(4) 透析医療経済委員会	平成 7 年 6 月 30 日～ 7 月 1 日 平成 7 年 9 月 8 日 平成 7 年 10 月 13 日 平成 8 年 3 月 27 日
(5) 医療廃棄物対策委員会	平成 8 年 3 月 3 日
(6) 在宅透析委員会	
2. 災害時救急透析医療委員会	平成 7 年 6 月 3 日 平成 7 年 11 月 18 日
3. 合併症対策委員会	平成 7 年 10 月 12 日
4. 腎移植普及推進委員会	
5. 腎不全予防医学調査研究委員会	
6. 研修委員会	平成 7 年 9 月 1 日
7. 広報委員会	平成 7 年 11 月 18 日
8. 情報管理委員会	
9. 内規委員会	

Ⅲ. 会務報告

7. 4. 15 平成6年度 会計監査実施。
7. 5. 12 (社)日本腎臓移植ネットワークへの社員推薦について各支部長あて発送。
7. 5. 19 全腎協第25回総会に会長名で祝電発信。
7. 5. 24 厚生省保健医療局疾病対策課に通常総会等報告。
7. 5. 30 サハリン北部地震関連人工透析器供与について、厚生省保健医療局疾病対策課長に報告。
7. 5. 30 (社)日本腎臓移植ネットワークへの社員推薦施設決定。
(入会に必要な書類送付)。
7. 5. 31 感染性廃棄物実態調査(アンケートを含む)を実施。
7. 6. 2 「サハリン北部地震についての報告」理事、支部長あて発送。
7. 6. 12 (社)日本腎臓移植ネットワーク社員総会について、社員施設あて発送。
7. 6. 20 (財)医療機器センター設立10周年記念式典に会長出席。
7. 6. 27 理事変更登記について申請(東京法務局)。
7. 6. 30 上記登記簿謄本受領。
7. 6. 30 厚生大臣あて平成6年度事業報告及び収支決算並びに平成7年度事業計画及び予算等提出。
7. 7. 13 厚生大臣あて「特定公益増進法人」であることの証明申請書提出。
7. 7. 18 被保険者報酬月額算定基礎届についての説明会。
於：東医健保会館 増田出席。
7. 7. 28 日本医師会羽田春兎前会長葬儀に会長名で香典及び弔電。
7. 7. 31 「地域での災害対策策定のお願い」について、支部長、未組織地区(移植ネットワーク推薦施設)あて発送。
7. 7. 31 「(社)日本透析医会支部結成に関するお願い」について、未組織地区(移植ネットワーク推薦施設)あて発送。
7. 8. 1 被保険者報酬月額算定基礎届提出。
7. 8. 3 厚生省保健医療局疾病対策課長あて腎不全対策推進功労者の推薦について報告。
7. 8. 3 厚生事務次官あて平成7年度腎移植推進月間の主催及び第10回腎移植推進国民大会の後援についての承諾書提出。
7. 8. 23 厚生大臣から「特定公益増進法人」であることの証明書受領。
7. 9. 16 全腎協会長ほか関係者との懇談会開催。
於：医会会議室(午後3時～5時)
本会から常務理事全員出席。
7. 9. 16 全腎協主催「シンポジウム」の後援名義使用について承諾。
7. 10. 3 厚生省保健医療局疾病対策課成人病係あて「平成7年度公益法人概況調査票」提出。
7. 10. 22 第10回腎移植推進国民大会に平澤会長出席(大宮市)。
7. 11. 19 第8回シンポジウム「透析医療におけるコンセンサスカンファレンス'95 -二次性副甲状腺機能亢進症に対する保存的治療の限界と手術適応-開催(東京都)
7. 11. 29 厚生省(岡光保険局長、和田審議官、下田保険局医療課長)に診療報酬改定についての「要望書」提出(別紙)。

- (平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事、山崎常務理事、持参説明)
7. 11. 29 第11回疾病対策連絡協議会開催
(鈴木専務理事、山崎常務理事、事務局長出席)
7. 11. 30 日本医師会(村瀬会長、坪井副会長)に診療報酬改定についての「要望書」提出(別紙)。
(平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事、持参説明)
7. 12. 8 厚生省保険局医療課あて「診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について」の報告書提出。
7. 12. 8 厚生省保険局医療課あて「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル(平成7年改訂)」提出。
7. 12. 16 工臓協会長ほか関係者との意見交換会開催。
於：医会事務局・会議室
出席者：医会から平澤会長他5名
工臓協から渡辺会長他4名
7. 12. 16 平成7年度腎移植推進月間及び第10回腎移植推進国民大会の助成について決定。
7. 12. 16 「女性のためのアジア平和国民基金」の募金活動等に対する助成について決定。
8. 1. 17 職員採用予定者との面接(鈴木専務理事、山崎常務理事他)
8. 1. 20 第51回日本消化器外科学会総会への助成を決定。
8. 1. 20 全腎協主催「シンポジウム」の後援名義使用について承諾。
8. 2. 1 厚生大臣あて就任の挨拶状を会長名で送付。
8. 2. 14 寺松 尚先生(前厚生省健康政策局長)の葬儀に会長名で香典、会長名及び理事一同で供花。
8. 2. 17 「第7回サイコネフロロジー研究会」の後援名義使用について承諾。
8. 2. 26 (社)日本透析医学会(認定医制度委員会)あて「全国規模血液浄化関連学術集会認定基準」提出。
8. 3. 8 厚生省保健医療局疾病対策課推薦により、平成8年4月10日(水)に内閣総理大臣主催で新宿御苑において開催される「桜を見る会」に、本会から平澤由平会長が招待された。
8. 3. 8 厚生省保険局医療課と本会との「勉強会」を年3回～4回程度開催することを決定。(保険局医療課了承)
8. 3. 8 厚生省健康政策局指導課から、医療法改正に伴い、一般診療所と透析専門診療所との相違(例えば、施設、設備、人的問題等)についての問い合わせがあり、「透析医療に関するメモ」を提出。
8. 3. 13 厚生省保険局医療課長あて「診療報酬改定に関する勉強会」の講師派遣の依頼。
8. 3. 27 平成8年診療報酬改定に関する勉強会開催
講師 厚生省保険局医療課
課長補佐 原 徳壽

平成7年11月 日

殿

社団法人 日本透析医会
会 長 平澤 由平**要 望 書**

日頃より、当会の活動に対し格別なご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、医療を取り巻く経済環境は引続き極めて厳しいものと認識せざるを得ません。こうした状況下での診療報酬改定は、透析医療についても、物から技術料へ配分比率の適正な変換を重視して行われるべきものと考えております。

昨年の外来診療報酬の部分包括化以降、当会は「適正な透析」の提供に鋭意努力して参りました。更に本年は、先の阪神大震災時の透析施設に対する支援や腎移植ネットワーク構築などで大きな役割を演じたと自負しており、厚生省当局の理解と強い支持も得ているものと考えております。

一方、介護保険の問題に関しても早急に取り組む所存であります。例えば、在宅医療であるCAPDの位置づけ等について検討を開始しております。

以上、当会の事業に対し、一層のご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、平成8年度の診療報酬改定に際し、以下の事項に関する所要の改定を要望するものであります。

1. 人工腎臓処置料(手技料)の引き上げ

前回の診療報酬改定では、外来透析に関する部分包括化が実施されました。今回は包括化された人工腎臓処置料の引き上げを要望します。

2. 障害者加算の適応拡大と点数引き上げ

下記のごとき「著しく人工腎臓治療が困難な患者」に対して、障害者加算を要望します。

また、これら対象患者は、経営が問題となってきたセンター病院で治療中と思われ、このためにも点数引き上げを強く要望します。

記

- 1) 透析中循環不全症状を呈し、維持透析が困難な透析歴10年以上の患者
- 2) 入院を要する重症感染症合併患者
- 3) 入院を要する末期癌合併患者
- 4) 入院を要する腹水・胸水貯溜患者
- 5) 入院を要する骨折や出血を伴う外傷患者
- 6) 間歇性跛行を伴う閉塞性動脈硬化症合併患者や糖尿病性壊疽合併患者
- 7) ブラッドアクセス確保が困難で、人工血管や留置カテーテルを使用する患者または動脈直接穿刺の患者

3. 入院を要する手術患者の加算点数新設

透析患者の長期生存、高齢化にともない、手術を必要とする合併症も増加しております。透析患者の手術は、他の患者に比しきわめてリスクが高く、術後管理にも一層の注意が要求されます。

こうした入院を要する手術後2週間以内の患者の透析管理に「透析患者術後加算」が設定されることを要望します。

4. 人工腎臓(ダイヤライザー)の機能別収載

透析医療の質を維持するためには、高機能ダイヤライザーの開発と普及は必須です。これは

当会調査に基づく「診療報酬における外来透析点数の包括化と透析医療の質の変化について」の報告書で述べた通りです。

良質な透析医療を確保するため、人工腎臓（ダイアライザー）の機能別収載を要望します。

5. 5時間以上の透析点数の設定

現行の4時間を境とする透析手技料が二段階に設定され、かつ周辺機器の進歩と普及により、平均的な透析時間は4時間に収斂されつつあります。一方、除水を含め緩徐な透析を必要とし、5時間以上の透析を実施している患者も10%未満ではありますが存在します。

このことより、4時間以上・未満の点数設定に併せ、5時間以上の透析手技料の新設を要望します。

6. 導入期加算の急性腎不全にも適応拡大

先の阪神大震災時に問題となりました挫滅症候群に代表される急性腎不全は、慢性透析導入時と同様に患者のリスクは高く、短時間の透析とはいえ多くの人手と高度な技術が必要です。

このことより導入期加算が急性腎不全にも適応されますよう要望します。

7. 特定疾患療養指導料の腎疾患への適応

腎疾患は、食事指導・日常生活指導・高血圧管理などの服薬指導が最も効果を示す疾患群であり、従来より日常診療の中で実施されてきました。また、食事指導などの療養指導こそが、腎疾患の進展ひいては透析への導入を遅延させる唯一の手段といっても過言ではありません。

腎・泌尿器専門医にとって、腎疾患が特定疾患療養指導料の対象となることは、必然でもありかつ悲願でもあります。日本腎臓学会ともども、これを要望するところであります。

8. 土曜日の休日加算新設

週休二日制の実施にともない、多くの医療機関では土曜日が休日となり、この時の透析従事者には休日手当を支給する必要があります。そこで、土曜日に実施される透析については、国民の祝日同様の休日加算が適応されることを要望します。

平成7年度収支決算書

1. 収支計算書（平成7年4月1日から平成8年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	平成7年(案)	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	70,000,000	68,616,000	△ 1,384,000	
2. 入会金収入	3,000,000	4,000,000	1,000,000	
3. 寄付金収入				
阪神大震災寄付金		3,353,515		
助成協賛金等		51,430,500		
寄付金収入合計	100,000,000	54,784,015	△45,215,985	
4. 受取利息収入	5,000,000	5,907,912	907,912	
5. 会場収入		334,000	334,000	
6. 基本財産取崩	20,000,000	20,000,000	0	
当期収入合計(A)	198,000,000	153,641,927	△44,358,073	
前期繰越収入差額	102,000,000	102,518,707	518,707	
収入合計(B)	300,000,000	256,160,634	△43,839,366	
II 支出の部				
1. 事業費				
透析医療適正化事業費	7,730,000	3,742,596	△ 3,987,404	
地域透析医療システム事業費	53,200,000	32,973,880	△20,226,120	
腎移植普及推進事業費	7,500,000	5,919,610	△ 1,580,390	
腎不全予防医学調査研究費	700,000	0	△ 700,000	
研修等事業費	10,000,000	9,615,785	△ 384,215	
広報活動費	10,000,000	4,572,886	△ 5,427,114	
その他の事業	121,800,000	68,714,550	△53,085,450	
阪神大震災義援金	27,000,000	31,067,251	4,067,251	
事業費合計	237,930,000	156,606,558	△81,323,442	
2. 管理費				
人件費	17,500,000	15,124,038	△ 2,375,962	
家賃	13,000,000	10,027,904	△ 2,972,096	
その他経費	13,395,000	13,842,398	447,398	
管理費合計	43,895,000	38,994,340	△ 4,900,660	
3. 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	2,900,000	4,534,422	1,634,422	
電話加入権購入支出		74,984	74,984	
災害時システム設備支出		515,000	515,000	
保証金支出	5,000,000	5,000,000	0	
固定資産取得支出合計	7,900,000	10,124,406	2,224,406	
4. 予備費	5,000,000	0	△ 5,000,000	
基本財産組入額	0			
当期支出合計(C)	294,725,000	205,725,304	△88,999,696	
当期収支差額(A) - (C)	△96,725,000	△52,083,377	44,641,623	
次期繰越収支差額(B) - (C)	5,275,000	50,435,330	45,160,330	

2. 正味財産増減計算書（平成7年4月1日から平成8年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
什器備品購入額	4,534,422		
災害時システム設備購入額	515,000		
電話加入権購入額	74,984		
保証金増加額	5,000,000	10,124,406	
増加額合計			10,124,406
2. 負債減少額			
減少額合計	0		
II 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	52,083,377		
建物附属設備減価償却額	14,024		
災害時システム設備減価償却額	9,192,466		
什器備品減価償却額	1,708,293		
基本財産取崩額	20,000,000	82,998,160	
2. 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	334,894	334,894	
減少額合計			83,333,054
当期正味財産減少額			73,208,648
前期繰越正味財産額			412,503,633
期末正味財産合計額			339,294,985

3. 貸借対照表（平成8年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,755,691		
仮払金	35,760		
流動資産合計		50,791,451	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	252,000,000		
基本財産合計	252,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	84,736		
災害時システム設備	21,408,213		
什器備品	5,268,014		
電話加入権	563,372		
保証金	11,350,000		
その他の固定資産合計	38,674,335		
固定資産合計		290,674,335	
資産合計			341,465,786
II 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	2,000		
所得税預り金	218,326		
住民税預り金	39,600		
健康保険預り金	36,146		
厚生年金預り金	62,700		
雇用保険預り金	△ 2,651		
流動負債合計		356,121	
2. 固定負債			
退職給与引当金	1,814,680		
固定負債合計		1,814,680	
負債合計			2,170,801
III 正味財産の部			
正味財産			339,294,985
(うち基本金)			(252,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(73,208,648)
負債及び正味財産			341,465,786

4. 計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	272,000,000	0	20,000,000	252,000,000
合計(基本金)	272,000,000	0	20,000,000	252,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
現金預金	50,755,691
仮払金	35,760
合計	50,791,451
会費預り金	2,000
預り金	354,121
合計	356,121
次期繰越収支差額	50,435,330

4. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	322,907	238,171	84,736
災害時システム	107,598,585	86,190,372	21,408,213
什器備品	21,995,592	16,727,578	5,268,014
合計	129,917,084	103,156,121	26,760,963

5. 財産目録 (平成8年3月31日現在)

(単位:円)No 1

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	62,322		
郵便振替	435,839		
普通預金 三菱銀行神田支店	3,325,513		
住友銀行神田支店	26,245		
第一勧業銀行神田支店	157,593		
さくら銀行神田支店	109,384		
あさひ銀行神田支店	429,206		
あさひ銀行神田支店	1,709,589		
定期預金 三菱銀行神田支店	44,500,000		
仮払金	35,760		
流動資産合計		50,791,451	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金 三菱銀行神田支店	252,000,000		
(2) その他の固定資産			
建物付属設備			
間仕切工事	84,736		
什器備品			
会議用テーブル	48,731		
会議用椅子	159,170		
事務用椅子	26,728		
IBM ソフト	95,085		
明光MSシュレッター	47,807		
OASYS 70DP ワープロ	564,160		
会議用テーブル	558,004		
会議用椅子	606,307		
プログラムソフト	2,141,517		
パワフル会計公益FOR WIN	409,069		
COMPA Q一式	611,426		
NECパソコン	1		
ゼロックスコピー	1		
FAX&ソーター	1		
東芝ワープロ	1		
事務用椅子	1		
NEC PC980	1		
IBM S38	1		
IBM ソフト	3		

(単位：円)No2

科 目	金 額		
災害時システム設備			
建物付属設備			
電源増設工事	1,053,596		
日本ユニシス2200設備工事	1,984,628		
什器備品			
日本ユニシス2200/200SX	6,004,332		
日本ユニシス ソフト	12,304,235		
ゼロックスFAX	61,422		
電話加入権	563,372		
保証金 淡路建物ビル保証金	11,300,000		
警備保証金	50,000		
其他固定資産合計	38,674,335		
固定資産の合計		290,674,335	
資産合計			341,465,786
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	2,000		
預り金 職員等に対する源泉所得住民税	354,121		
流動負債合計		356,121	
2. 固定負債			
退職給与引当金	1,814,680		
固定負債合計		1,814,680	
負債合計			2,170,801
正味財産			339,294,985

管理費内訳

給料	12,889,090
賃金	664,400
法定福利費	1,166,463
通勤費	404,085
旅費交通費	755,390
会議費	223,424
交際費	91,459
福利厚生費	76,386
印刷製本費	1,043,973
通信運搬費	992,207
消耗品費	1,050,863
委託費	4,120,244
報酬(要源泉)	666,666
水道光熱費	610,228
家賃	10,027,904
諸会費	318,721
租税公課	4,000
テーブルライト	53,045
慶弔費	150,000
常任理事会費	1,433,856
総会・理事会費	1,909,579
雑費	342,357
合 計	38,994,340

第2号議案 平成8年度事業計画書

事業計画の概要

1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

- ① 適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会

- * 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

適正透析導入委員会（第一委員会）

適正な導入時期に関する調査研究

維持透析療法委員会（第二委員会）

適正な維持透析療法に関する調査研究

適正透析普及委員会（第三委員会）

同上の療法の普及推進を行う

透析医療経済委員会（第四委員会）

適正な透析医療経済に関する調査研究

医療廃棄物対策委員会（第五委員会）

医療廃棄物対策に関する調査研究

在宅透析委員会（第六委員会）

在宅治療の（CAPD・家庭透析等）の適応基準の調査・研究

2. 地域透析医療システムに関する調査・研究

- * 透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究
- ① 災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

災害時救急透析医療委員会

- イ. 施設登録・患者登録の調査、入力及び検証に関する事業
- ロ. コンピュータ化に伴う他委員会との整合性の検討
- ハ. ブロック別災害時救急透析医療システムの構築
- ニ. 災害等のための患者透析登録証の発行

② 長期透析患者の合併症に対する調査研究

合併症対策委員会

- イ. 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究
- ロ. 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- ハ. 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

- * 会員および患者に対しての協力・普及を目的とする。
- イ. 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
- ロ. 会員に対する腎移植の啓発・教育事業（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）
- ハ. 患者に対する腎移植推進事業（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業）
- ニ. 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
- ホ. 腎移植コーディネーター問題の研究

4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

腎不全予防医学調査研究委員会

- * 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業
- イ. 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業
- ロ. 関係団体への協力事業

5. 研修等事業

研修委員会

- イ. 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
- ロ. 学術研究への協力
- ハ. 関係学会・団体との研究協力
- ニ. 国内講演会等の開催

6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

広報委員会

- * 機関誌等の発行
 - イ. 雑誌 1,500部(年4回発行)
 - ロ. 医会ニュース1,200部

7. その他の事業

情報管理委員会

- * 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

平成8年度予算

〔収入の部〕

(単位：円)

区 分	平成7年度予算	平成8年度予算(案)	増 減
1. 会費収入	70,000,000	71,000,000	1,000,000
2. 受取利息	5,000,000	800,000	△ 4,200,000
3. 入会金収入	3,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
4. 前年度繰越金	102,000,000	50,000,000	△52,000,000
5. 寄附金収入	100,000,000	100,000,000	0
6. 基本財産取崩	20,000,000	20,000,000	0
計	300,000,000	243,800,000	△56,200,000

〔支出の部〕

区 分	平成7年度予算	平成8年度予算(案)	増 減
1. 事業費	237,930,000	171,000,000	△66,930,000
2. 管理費	51,795,000	44,295,000	△ 7,500,000
3. 予備費	5,000,000	5,000,000	0
4. 次年度繰越金	5,275,000	23,505,000	18,230,000
5. 基本財産組入額	0	0	0
計	300,000,000	243,800,000	△56,200,000

区 分	平成7年度予算	平成8年度予算(案)	増 減
基本財産累計	252,000,000	232,000,000	△20,000,000

支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成7年度予算	平成8年度予算(案)	増 減
I. 事業費(調査研究事業費)	237,930,000	171,000,000	△ 66,930,000
(1)透析医療の適正化	7,730,000	7,900,000	170,000
(1) 適正透析導入委員会	(1,750,000)	(1,750,000)	(0)
(2) 維持透析療法委員会	(1,330,000)	(1,300,000)	(△ 300,000)
(3) 適正透析普及委員会	(2,300,000)	(2,300,000)	(0)
(4) 透析医療経済委員会	(1,100,000)	(1,200,000)	(100,000)
(5) 医療廃棄物対策委員会	(800,000)	(900,000)	(100,000)
(6) 在宅透析委員会	(450,000)	(450,000)	(0)
(2)地域透析医療システム	53,200,000	43,600,000	△ 9,600,000
(1) 災害時救急透析医療委員会	(50,000,000)	(37,700,000)	(△12,300,000)
(2) 合併症対策委員会	(3,200,000)	(5,900,000)	(2,700,000)
(3)腎移植普及推進	7,500,000	3,500,000	△ 4,000,000
(4)腎不全予防医学の調査研究費	700,000	4,200,000	3,500,000
(5)研修等事業費	10,000,000	10,000,000	0
(6)広報活動費	10,000,000	10,000,000	0
(7)その他の事業	121,800,000	91,800,000	△ 30,000,000
(1) 情報管理委員会	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)
(2) 内規委員会	(600,000)	(600,000)	(0)
(3) 学会助成費	(120,000,000)	(90,000,000)	(△30,000,000)
(8)阪神大震災義捐金	27,000,000	0	△ 27,000,000
II. 管理費	51,795,000	44,295,000	△ 7,500,000
(1)人件費	17,500,000	18,600,000	1,100,000
(2)家賃	13,000,000	11,000,000	△ 2,000,000
(3)その他の経費	21,295,000	14,695,000	△ 6,600,000
III. 予備費	5,000,000	5,000,000	0
IV. 次年度繰越金	5,275,000	23,505,000	18,230,000
V. 基本財産組入額	0	0	0
計	300,000,000	243,800,000	△ 56,200,000

第3号議案

社団法人 日本透析医会 役員名簿

役職名	氏名	現職
名誉会長	稲生 綱政	医療法人大坪会 東和病院 院長
会長 (甲信越)	平澤 由平	社団法人 信楽園病院 院長
副会長 (北海道)	今 忠正	札幌北クリニック 院長
〃 (関西)	藤田 嘉一	医療法人五仁会 住吉川病院 顧問
専務理事 (関東)	鈴木 満	医療法人松園会 理事長
常務理事 (関東)	吉田 豊彦	医療法人誠仁会 理事長
〃 (中部)	山崎 親雄	医療法人衆済会 増子記念病院 院長
〃 (関西)	飯田 喜俊	淀川キリスト教病院 教育顧問
理事	太田 和夫	東京女子医科大学 教授
	翁 久次郎	全国社会福祉協議会 会長
	小出 桂三	帝京大学医学部 教授
	石丸 隆治	(財)ヒューマンサイエンス振興財団 理事長
	前田 憲志	名古屋大学医学部 教授
	藤見 惺	福岡赤十字病院 内科部長
	松田 鈴夫	国際医療福祉大学 教授
	秋葉 隆	東京医科歯科大学 講師
(北海道)	廣田 紀昭	廣田医院 院長
(東北)	関野 宏	医療法人宏人会 理事長
(東北)	村上 秀一	医療法人三良会 村上新町病院 院長
(関東)	奥田 健二	医療法人開生会 奥田クリニック 理事長
(甲信越)	土屋 隆	医療法人輝山会 理事長
(中部)	鈴木 信夫	医療法人研信会 理事長
(関西)	井上 隆	医療法人蒼龍会 理事長
(関西)	小野 利彦	医療法人桃仁会 理事長
(中国)	土谷 晋一郎	医療法人あかね会 理事長
(中国)	高杉 敬久	博愛病院 院長
(四国)	寺尾 尚民	医療法人尚賢会 理事長
(九州)	後藤 宏一郎	後藤クリニック 院長
(九州)	工藤 寛昭	工藤医院 院長
(九州)	牧角 仙丞	医療法人聖医会 理事長
監事 (甲信越)	大森 伯	大森内科医院 院長
(関東)	高宮 治生	栃木県厚生連 下都賀総合病院 院長
(九州)	山口 弾之	医療法人至誠会 理事長